

一般質問

9月2日、5日から8日の5日間にわたり、32名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをたしました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。

各議員のタイトル下にあるQRコードから一般質問の録画映像にアクセスできます。

※動画の再生には別途通信料がかかります。

学校運営について



佐藤和彦(まちだ市民クラブ) 援をしてほしいが見解は。

成瀬台小・中学校のように、隣接校に特化した小中連携はどのようなことを行っているのか。

学校教育部長 教員が互いに授業を参観し、意見交換をする交流会を行っています。

また、合同の引き取り訓練など、地域、保護者が一体となった取り組みも進めています。

学校現場にもっと地域の人が入っていけるよう、支援をしてほしいが見解は。

教育長 地域の皆様が参加し、支援をいただくというスクールボード校というものの制度をさらに充実させていきたいと考えています。

水素社会の実現に向けて、今後どのような施策を展開していくのか。

環境資源部長 購入したトヨタミライを活用することで、水素の利用について、理解が進むように周知したい。

子育て支援・災害対策について



松葉ひろみ(公明党)

昨年提案した、子育て支援サイト、モバイルアプリの導入について進捗状況は。

高橋副市長 市のホームページから独立した形の子育てサイトを開設することとしました。

また、アプリ機能を活用し、情報を配信する仕組みで開設していく予定です。

子どもセンター「まあち」は好評だが、駐車場を求める声についてはどのように

考えるか。

子ども生活部長 まあちは利便性を考慮し、駅やバスセンターから行きやすい場所に建設しているため、駐車場の確保は想定していません。

災害時避難行動要支援者情報の共有についての取り組みを問う。

地域福祉部長 避難行動要支援者名簿を作成しており、消防署、警察署、民生・児童委員等に提供しています。

第2すみれ教室 消防団無線改善



森本せいや(まちだ市民クラブ)

消防団配備のデジタル無線機は、不感地域が存在等課題が多い。事前想定が非常にお粗末だったのではないかと、防災安全担当部長 諸問題があったこともわかっていました。

もう少し丁寧にする必要もあったとは思いますが、導入しないといけなかった事はご理解をいただきたい。

すみれ教室は老朽化も進み、狭小である。第2すみれ教室の早期整備を求める。

子ども生活部長 堺地区で、公立保育園の建てかえにあわせて、保育園の中に療育機能を含める検討を進めています。

家庭的保育事業等0、2歳児対象保育施設の3歳以降の安定的な受け皿が必要だ。

子ども生活部長 新制度移行に際し連携施設を複数選べるので、今後保護者が望めばですがそういったところになげられればと考えています。

薬師池公園に観光馬車の導入を



大西宣也(保守連合)

薬師池公園は一体的な整備計画が進んでいるが、ぼたん園やダリア園等を含めた一周できる観光馬車を導入することにより、来園者の増加が見込めるのではないかと、都市づくり部長 回遊性を高め、各施設の連携を強めることが重要だと認識しているところだ。

馬車を含めました園内を楽しく円滑に移動するための手段について、検討

していきます。

喫煙する職員としない職員では余計に1時間位休憩時間が多くなる。このことは人事考課に評価されているのか。

総務部長 長時間の離席となりますと、仕事の量というところにも影響してきます。

倫理観・規律性、あるいは業績の項目で業務遂行に支障がある場合には、これらの項目について低い評価が与えられるものと考えています。

モノレール延伸の開通目標は



吉田つとむ(保守連合)

リニア新幹線はJR東海が2027年開通と決めているが、小田急多摩線延伸も同年の開通を相模原・町田両市長が覚書を交わしている。多摩都市モノレールの町田延伸も明確な開通目標を設定すべきではないか。

市長 整備のためには目標年次を定めるのは非常に重要なことだというふうに思いますが、これから国及び東京都と

協議をする中で、目標年次を決めるということと大きな節目と考えて、それをいつ公表するかということは、まだこれから問題だと思っています。

鶴間公園に新施設を造るのであれば木製を望む。

都市づくり部長 景観審議会にもこの問題は投げかけており、公園から見える建物等の景観等も踏まえて検討していただいています。

審議の結果を受け、判断していきたい。

保育料のあり方 防災意識向上



新井克尚(保守連合)

保育料の見直しを行い、認可保育所、認証保育所、幼稚園利用時の負担の格差をなくせないか。

子ども生活部長 負担の格差、これを調整することは、保育料の課題解決に役立つものであると思います。今回、提案のあったことについては、子ども・子育て会議にしっかりと伝えていきます。

乳幼児のいる家庭に家具転倒防止の取り組みをしていくか。

防災安全担当部長 特別な取り組みは、現在のところ行っていない。

「こんなに赤ちゃん訪問」の際に説明をすれば効果が高いと考えるがどうか。

防災安全担当部長 事業本来の目的を損なうことなく、効果的に実施できるかどうかを今後庁内関係部署と調整していきたいと考えています。

南町田周辺地区の整備について



おさむら敏明(自由民主党)

北口交通広場完成後、速やかに町田駅間の増便、成田、羽田空港便、成瀬駅間の路線開設運行を要望する。

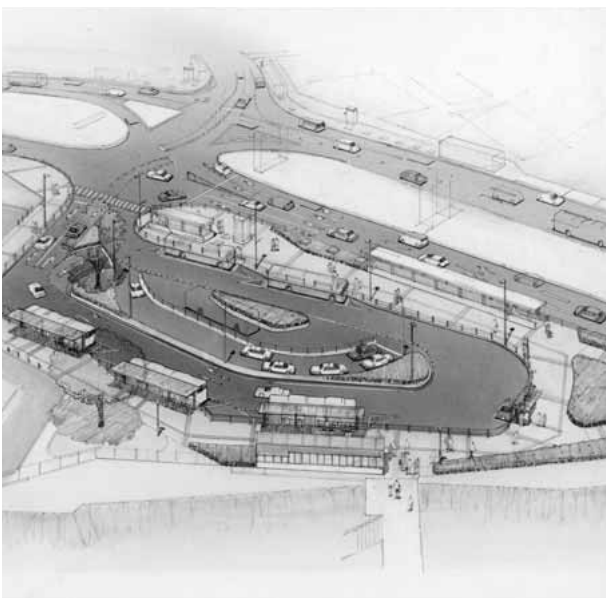
市長 17年4月から路線バスの乗り入れを予定しており、各空港行きリムジンバスの導入を行う見込みであります。成瀬駅方面について、引き続きバス事業者等との協議を行ってまいります。

ながるセンター地区は市民活動拠点とし、図書館、コンサートホールなどを希望する。

市長 市民が集い、交流、活動できる場所となる施設を目指し、公園計画の検討と並行し、具体的な整備内容を検討しているところでございます。

町田を元気な街に、町田50万都市構想を。

政策経営部長 出生率の改善や転入超過の維持に取り組み、努力を続けていきます。



南町田駅北口広場のイメージスケッチ

視覚障がい者へのバリアフリー



わたべ真実(まちだ市民クラブ)

町田市では福祉のまちづくり総合推進条例に基づき、道路や公共施設の整備基準マニュアルを持っている。視覚障がいの方から見て暮らしやすいまちになっているか。現状は。

地域福祉部長 福祉制度では、同行援護、補装具、日常生活用具給付事業などを行っています。選挙では、各投票所に投票補助具を常備するほか、スロープ等を設置し投票しやすい環境に努めています。

全性の確保に努めています。また、音声案内システムを市庁舎、市民センター等20の公共施設に設置しています。

どの様なサポートがあるか。

地域福祉部長 福祉制度では、同行援護、補装具、日常生活用具給付事業などを行っています。選挙では、各投票所に投票補助具を常備するほか、スロープ等を設置し投票しやすい環境に努めています。

誰もが「夢」をもてるまちに



熊沢あゆみ(自由民主党)

地域センターによって和室を高齢者に無料開放しているが、乳幼児にも開放することはできないか。

市民部長 今後、継続的に改善を図っていく必要があり、ご指摘も含めて工夫をしたいと思いますと考えています。

家庭で保育している人が気軽に相談できる環境はどうか。

子ども生活部長 気軽に遊びたいと考えています。

小山田／小児医療施設



藤田 学(自由民主党)

市長の想う小山田の姿とまちづくりの将来像を伺う。

市長 環境に配慮しながら、鉄軌道延伸の機会などを的確に捉えつつ、生活環境の整備改善に継続して取り組んでまいります。

都立・私立高校・大学等への避難施設としての協力要請と連携を求める。

防災安全担当部長 風水害時の避難であれば、比較的短期間で済むと見込まれます。

これを踏まえ、協力の形態については相手方が協力できる範囲に応じて柔軟に係を結べるよう働きかけていきたい。

医師会との連携を含めて市民病院の周産期、小児医療のさらなる充実を求める。

保健所長 第5次保健医療計画の審議は保健所運営協議会にお願いすることとし、地域の小児科医の意見を十分に聞いた上で策定していきます。